

舗装工事発注支援システム

Pavement management Support System (PSS)

舗装工事発注支援システム(PSS)とは？

技術者の視点や知見を基に各種データの一元的な可視化や分析機能及び高い操作性を実現したシステム。

本システムにより、路面性状結果、劣化予測、舗装構成等のデータから手作業で行っていた発注図書作成を自動化して生産性向上を図るほか、優先して補修すべき箇所を容易に把握できることで適時適切な優先順位での補修が可能となり、高速道路の走行快適性の向上に繋がっています。

導入効果・メリット

任意の補修箇所の
概算工費も追加算出！

多視点的な
情報に基づく
意思決定を

高度化

データ表示や
発注資料を
自動化する等
業務プロセスを

省力化

生産性を
飛躍的に
向上

PSSの主な機能(発注支援機能)

①補修箇所選定・抽出

事業費を考慮した
トライアルが可能

②概算工費算定・調整

③舗装現地WG
※舗装標準様式の
作成支援

④発注図面作成支援

補修箇所を自動抽出

自動的に図面へ旗上げ表示

舗装発注業務が効率化 70時間 ⇒ 7時間 (1/10) ※1工事あたり



東日本高速道路株式会社

PSS活用イメージ

従来



PSSを活用すると...

位置情報をキーとした各種情報を統合的に可視化し、技術者が最適な補修計画策定を支援するデータドリブンの実現

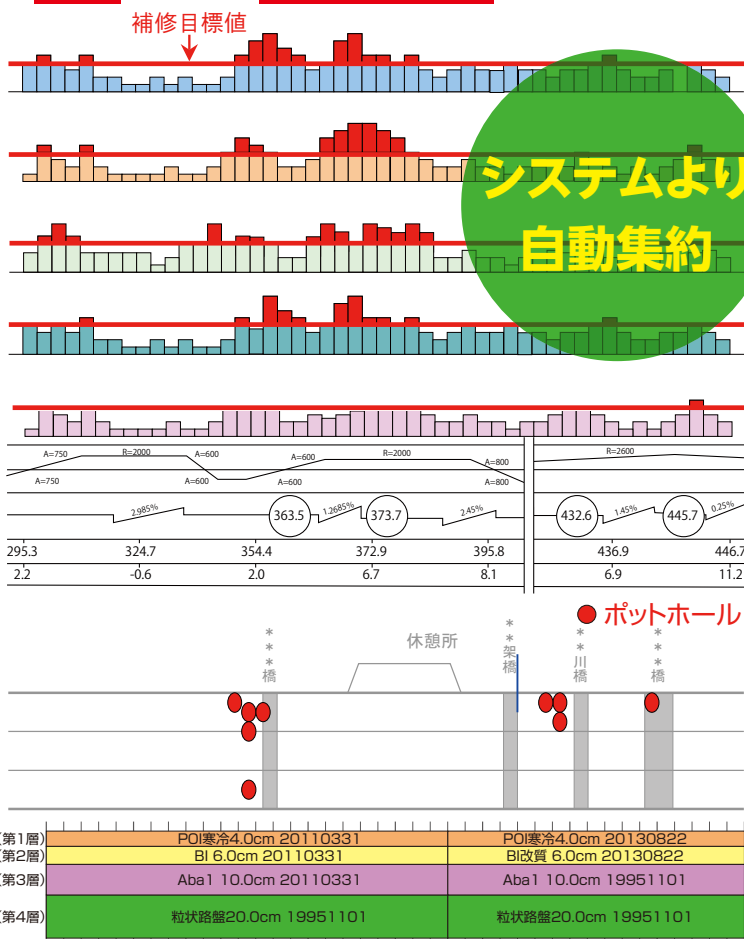
補修箇所

IRI
わだち掘れ
ひび割れ率
FWD
すべり抵抗
線形情報
(平面曲線, 横断勾配)

ポットホール

舗装種別、補修履歴

自動集計



2024年10月

お問い合わせ先

東日本高速道路株式会社

〒100-8979 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルディング(総合受付14F)

TEL : 03-3506-0111(代表) URL : <https://www.e-nexco.co.jp/>